

令和6年7月11日開催

豊川市国民健康保険運営協議会

令和6年度第1回議事録

豊川市福祉部保険年金課

豊川市国民健康保険運営協議会 令和6年度第1回議事録

- 1 開催日時 令和6年7月11日(木)
午後1時35分から午後2時44分まで
- 2 開催場所 豊川市役所本庁舎3階 本34会議室
- 3 委員の定数 13名
- 4 出席委員の氏名
被保険者代表 緒 河 睦 子
同 小 林 尚 美
同 榑 原 るり子
同 藪 田 千 賀
保険医・保険薬剤師代表 竹 本 正 興
同 福 富 達 也
同 星 野 正 英
同 伊 藤 幸 剛
公益代表 神 谷 典 江
同 沼 田 俊 昭
同 田 中 粹 人
同 小 林 敬 子
被用者保険等保険者代表 吉 田 雄 彦
以上13名
- 5 欠席委員の氏名
なし
- 6 説明のための出席者
福祉部次長 松 井 誠 治
福祉部保険年金課長 松 本 謙 司
福祉部保険年金課 課長補佐 鈴 木 政 博
同課 課長補佐 手 塚 弘 美
同課 国保保険料係長 山 本 義 和
同課 国保給付係長 佐 藤 佳代子
- 7 傍聴者 4名
- 8 議事日程
議題 (1) 報告事項
① 令和5年度豊川市国民健康保険の状況について
② 豊川市国民健康保険条例の一部改正について

- ③ 令和6年度豊川市国民健康保険料について
- ④ 令和5年度特定健診実施状況について

会議の成立

出席者数は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第4条の規定の定足数に達している。

会議経過

午後1時35分、事務局福祉部保険年金課長の司会により開会。

○司会（松本課長）

ただ今から令和6年度第1回豊川市国民健康保険運営協議会を開催いたします。

初めに、お手元の資料、会議次第の「1」でございますが、神谷会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

——— 会長あいさつ ———

○司会（松本課長）

ありがとうございました。

それでは議事に入ります前に、本日の協議会は、豊川市国民健康保険運営協議会規則第4条の規定による定足数を満たしており、会議が成立していることをご報告いたします。

なお、豊川市審議会は原則公開となっており、本協議会につきましても、豊川市国民健康保険運営協議会の傍聴に関する取り扱いに基づき、一般に公開しております。

なお本日の傍聴人は、4名でございます。

また、会議録は、要点筆記により公開いたします。

それでは以後の進行は神谷会長にお願いしたいと思います。

●神谷会長

それでは会議次第に従いまして、次第の「2」をご覧ください。

議事録署名委員の指名を行います。

本日の議事録署名委員には、豊川市国民健康保険運営協議会規則第7条第2項により、藪田千賀委員、伊藤幸剛委員、両委員を指名いたします。

それでは、本日「3」の議題は、(1)の報告事項が4件でございます。

次第「3」(1)①令和5年度豊川市国民健康保険の状況について、事務局に説明を求めます。

○佐藤係長

「令和5年度豊川市国民健康保険の状況について（資料1ページ）」説明。

事前質問(No.1、No.2)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●吉田委員

豊川市国民健康保険のマイナ保険証利用率の目標値は、5月20%、8月35%、11月50%とのことだが、現在の利用率はわかるか。

○佐藤係長

直近が令和6年4月分で、利用率は7.9%です。

●小林（尚）委員

1年で823世帯の減であるが、このまま10年20年経過すると相当数の減少となるが、国民健康保険の見通しをどう考えているか。

○鈴木課長補佐

現在団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行している段階ですので、将来的には減少率は落ち着いてくると考えております。

●星野委員

12月の保険証廃止後、マイナ保険証を持っていない方へは資格確認書を発行するとのことだが、その発行に時間を要するようなら周知が必要だと考えるがいかがか。

○佐藤係長

次回一斉更新する保険証の有効期限は令和7年12月1日となります。保険証に代わる資格確認書については、保険証の有効期限が切れる前に対象者に対して送付する予定です。

●沼田委員

マイナ保険証が実際医療の現場で使用されている比率はどれくらいか。

●竹本委員

当医院では、4月の報告で5%程度と聞いている。なお、受付でマイナ保険証の提示について声掛けも行っている。

●星野委員

メリットを説明し、理解を求めてもマイナ保険証の利用について拒否される場合も多い。

●福富委員

当医院でも同様である。マイナ保険証へ移行する旨のポスターなど掲示してあるが、窓口での利用は少ない。

●星野委員

保険証に代わるものとして、既にお薬手帳があることも1つの要因である。

●神谷会長

利用率の高い自治体の情報など、事務局でわかりますか。

○鈴木課長補佐

九州などの自治体で、医療機関窓口で「マイナンバーカードお持ちですか」という声掛けをしている自治体が若干利用率が高いと聞いております。

●吉田委員

宮崎県や北海道の離島などで、行政の働きかけが大きい自治体があると聞いている。

●神谷会長

この件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)①令和5年度豊川市国民健康保険の状況についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)②豊川市国民健康保険条例の一部改正について、事務局に説明を求めます。

○山本係長

「豊川市国民健康保険条例の一部改正について（資料2、3ページ）」説明。事前質問(No.3)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●沼田委員

軽減対象世帯が全体の5割あり、所得のある方が多く負担して全体のサービスを行っているということか。

○山本係長

概ねそのとおりです。

●神谷会長

他の委員でこの件について何かございますか。無いようなので、この件につき

ましてはご了解ということでもよろしいでしょうか。それでは、議題(1)②豊川市国民健康保険条例の一部改正についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)③令和6年度豊川市国民健康保険料について、事務局に説明を求めます。

○山本係長

「令和6年度豊川市国民健康保険料について（資料4、5ページ）」説明。
事前質問(No.4)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●沼田委員

令和8年度から開始の子ども子育て支援金は、固定額ではないということか。

○鈴木課長補佐

全員一律の金額ではなく、料率に基づき算定されるものと聞いております。

●吉田委員

一般的な保険料とは違い、国が料率を決めて、国がその説明をするという議論がされていると聞いている。報道されている数百円という数字は、わかりやすいイメージとして提示されているものであり、実際とは少々異なると考える。

●藪田委員

被保険者が保険料を安くするためにできる努力は、被保険者数や世帯数を増やすこと、所得を上げること、健康になって医療費を下げることを考えるがよいか。だとすると、県単位化することで、豊川市民が頑張っても保険料は下がらないということにはならないか。

○鈴木課長補佐

豊川市民が頑張った結果、愛知県全体の保険料の引き下げに影響がでますので、効果がないことはありません。

●沼田委員

医療指数が低い豊川市は、納付金の統一により保険料が上がると聞いている。では、保険料削減のための努力をする意味がないと思われることにならないか。

○松井次長

豊川市だけが頑張ってもという考えはありますが、県内の全市町村が同じよ

うに努力することにより保険料削減が達成されるものになります。

●神谷会長

各市で開催されている国民健康保険運営協議会の意見を、県に伝えることは可能でしょうか。

○鈴木課長補佐

そのような場が現在設けられているものではございませんが、意見として県に届けることは可能です。

●神谷会長

他の委員でこの件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)③令和5年度豊川市国民健康保険料についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

議題(1)④令和5年度特定健診の実施状況について、事務局に説明を求めます。

○手塚課長補佐

「④令和5年度特定健診の実施状況について（資料6ページ）」説明。
事前質問(No.5、No.6)も併せて説明。

———— 質疑・意見の聴取に入る ————

●沼田委員

愛知県の令和4年度の特定健診受診率は、いくつか。

○手塚課長補佐

KDBシステムから抽出しますと、39.2%であり、令和5年度と同じです。

●沼田委員

愛知県も豊川市も受診率は横ばいであるとわかった。愛知県との受診率の差は広がっていないので、引き続き第3期データヘルス計画の最終目標率である、41%目指して、頑張っていたきたい。

●神谷会長

余程頑張らないと41%達成は難しいです。事務局は、頑張ってください。

●沼田委員

先に事務局に指摘したが、豊川市は今年度の通知で運営協議会の意見を踏まえ、「健診を受けた方と受けない方で医療費が約7倍違う」といった動機付けの文章を記載した。協議会での内容が実際に実行されるのは、協議会が有意義なものとなるので、よかったと考える。

●藪田委員

国保新聞によると、さいたま市でSMSを使った受診勧奨を行ったとの記事があった。本市も40代50代は受診率が低く、かつ、スマホを使いこなしている世代であるので、効果的ではないか。

●神谷会長

豊川市にも「ゆいネット」という電子回覧板があります。スマホで市政情報を手に入れられるのは効果が大きいですので、事務局は検討してください。

○松井次長

担当課に確認し、利用できるか確認し、利用を検討していきます。

●榊原委員

毎年、受診勧奨はがきをいただいているが、QRコードを記載し、健診情報にたどり着ける工夫を導入してはどうかと思う。

●田中委員

マイナンバーカードは、病院で簡単に紐づけができる。さらにプレミアム商品券などのように病院の支払いもできるようになれば、発行率や利用率が向上するのではないかと思う。

●神谷会長

他の委員でこの件について何かございますか。無いようなので、この件につきましてはご了解ということでよろしいでしょうか。それでは、議題(1)④令和5年度特定健診の実施状況についての報告は、ご了解をいただいたということで、次の議題に移ります。

———— 質疑・意見聴取終了 ————

●神谷会長

「4」その他について、事務局に説明を求めます。

○松本課長

「事務処理誤りについて（報道資料）」説明

○鈴木課長補佐

令和7年度予算に反映していただきたい意見、次回の開催予定について説明。

●神谷会長

ご説明ありがとうございました。質問も無いようでしたら、これで閉会とさせていただきます。本日は、ご多忙のところありがとうございました。

午後2時44分閉会

上記、会議の顛末を記録し、この議事録は、真正であることを認め、ここに署名する。

令和6年 月 日

会 長

議事録署名委員

議事録署名委員